

国名(日本語)	グレナダ
国名(英語)	Grenada



国名の由来	グレナダ島に由来する。グレナダとは英語名で、元はスペイン語のグラナダ「ザクロ」を意味する。ザクロの実によく似たパッションフルーツが島に数多く見られたので、この名がついた。
国旗の由来	スパイスの国として知られており、左側の緑の地には特産物のナツメグの実が描かれている。中央と周辺の数々の星は国を構成する7つの行政区を表し、中央の大きな星がその団結を象徴している。またこの星は首都のセントジョージズを表すともいわれている。緑は豊かな国土と農業を、黄色は太陽と国民の友情や団結を、赤は情熱と勇気を象徴している。
1 面積	340平方キロメートル(2014年 世界銀行)
2 人口	10.6万人(2014年 世界銀行)
3 首都	セントジョージズ
4 言語	英語(公用語)、フランス語系パトワ語
5 宗教	キリスト教(カトリック、プロテスタント、英国国教会等)等
6 豆知識	国旗に描かれているナツメグの生産量では世界トップクラスである。ほかにシナモン、ジンジャー、バニラ、サフランなどがさかんに栽培されている。 グレナダの国技はクリケット。